

亀山市の新しい図書館が めざすもの

― 亀山市立図書館整備基本計画の概要 ―

亀山市立図書館整備基本計画は、これからの亀山市立図書館の基本理念である「学びの場からつながる場」を達成するために、新図書館整備についての基本的な考え方と目標を示したものです。

亀山市立図書館は、昭和3年（1928）に設置された亀山町立図書館を前身とし、現在地に昭和55年（1980）に整備されました。

亀山市教育委員会では、平成28年（2016）10月の「亀山市立図書館の今後の方向性」、平成29年（2017）7月の「亀山市立図書館整備基本構想」を踏まえて、「亀山市立図書館整備推進委員会」や図書館市民ワークショップなどでの検討を重ねて、平成30年（2018）5月21日に本計画を策定しました。



旧亀山町立図書館

■ 新しい図書館の基本理念

学びの場からつながる場へ

■ 基本理念のキーワード

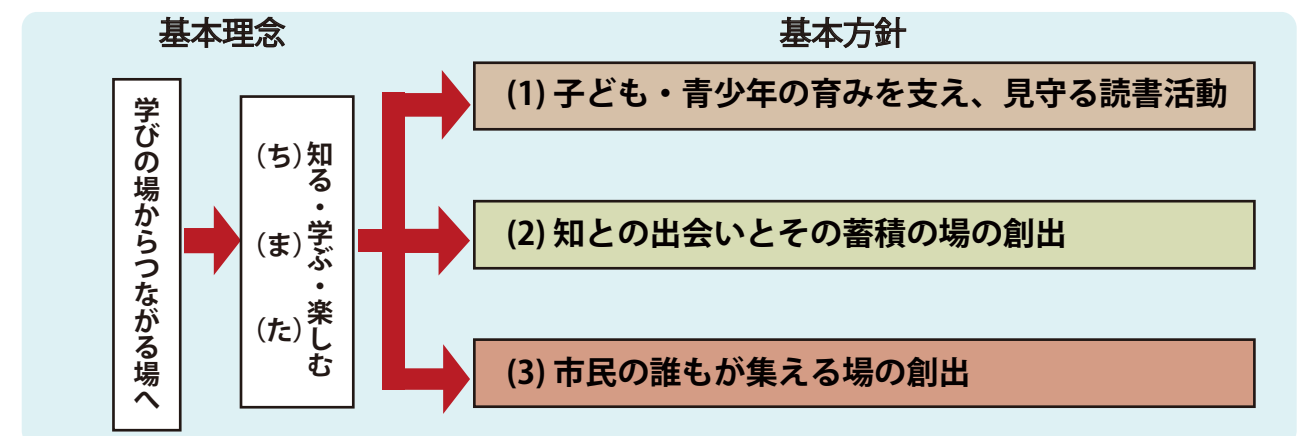
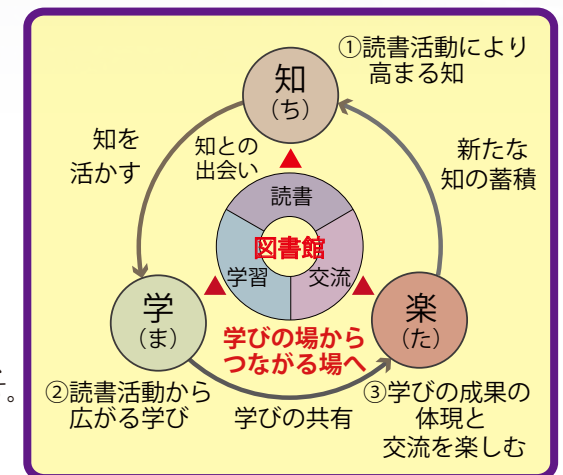
～知る（ち）・学ぶ（ま）・楽しむ（た）～

- ① 読書活動により高まる知（知・ち）
- ② 読書活動から広がる学び（学・ま）
- ③ 学びの成果の体現と交流を楽しむ（楽・た）

※「ち・ま・た」は、人や情報が交差する道の分岐点を現す古い言葉で、交通の要衝として栄えてきた亀山市の歴史的特性にもつながるものです。

■ 基本方針

基本理念の実現と亀山市全体の文化と教育力を高めるために、新しい図書館では、子どもと青少年の育み支援、知との出会いとその蓄積、市民交流の場の創出を整備拡充にあたって推進していく基本方針としました。



『動』の 諸機能



『静』の 諸機能



■ 施設整備の基本的な考え方

新図書館では、さまざまな機能と図書館本来の機能を融合させた「多機能型図書館」をめざします。

各機能は、開架閲覧機能を中心に、「動」と「静」を段階的な空間構成でつないで一体感を創り出すものとします。

また、環境やユニバーサルデザインへの配慮は必然のこととして、利用者に寄り添う視点に立って誰もが図書館サービスを利用できる配慮を行います。



新しい図書館の建設予定地



新しい図書館建設予定地の現状

■ 新しい図書館の立地

「亀山市立図書館整備基本構想」において、図書館の拡充のための要件に見合い、従来の図書館機能と併せて読書活動と市民の交流による地域づくりが、亀山市の中心的都市機能の再構築を図る亀山駅前再開発事業とも意図が合致することから、新しい図書館を亀山駅前へ移転整備することとしました。

■ 管理運営の体制

中長期的な展望のもとで、改めて設定する開館日数、開館時間などに最も適切な管理運営体制の構築について検討を行うこととしています。

また、館内で飲食ができるようにすることについての検討も進めていきます。

新しい図書館は、
2022年の開館
をめざしています。

※「亀山市立図書館整備基本計画」の全文は、亀山市立図書館 HP「新しい図書館を創ろう」のページをご覧ください。



■ 発行

：亀山市 教育委員会事務局 生涯学習課
〒519-0195 三重県亀山市本丸町 577 番地
電 話：0595-84-5057 FAX：0595-82-6161 亀山市立図書館整備基本計画
メール：syougaku@city.kameyama.mie.jp
平成 30 年 5 月 21 日
【概要版】

新しい図書館の目標

新しい図書館の整備に当たっては次のような目標を掲げています。

- ① 新しい図書館は、地域社会の課題解決にもつながるさまざまな情報を発信し、「あの図書館があるから亀山市で暮らしていきたい」と市民から誇りに思われる図書館をめざします。
- ② 延床面積は 3,000 m²程度をめざします。
- ③ 90 台程度の駐車場確保をめざします。
- ④ 現在 16 万 8 千冊の蔵書数について、将来的に 24 万冊となるようにめざします。
- ⑤ 280 席程度の閲覧席の設置をめざします。
- ⑥ 市民一人当たりの年間貸出数を 11 冊とし、図書館の利用登録者数は 3 万 5 千人をめざします。また、年間の入館者数は 23 万人を見こむものとします。
- ⑦ 図書館司書を軸として適切な人員を配置した体制の確立を図ります。
- ⑧ 管理運営・ランニングコストなどチェック機能の確立を図ります。

提供される機能とサービス

新しい図書館では次の機能を付加し、そのサービスを提供するための施設と体制を整えるように図ります。

【想定される機能】

【機能の内容】

【提供されるサービス】

開架閲覧機能

計画的に充実された蔵書をゆったりとした空間で読書活動ができます。

- 地域ごとの読書拠点を整備して誰もが身近に図書館のサービスが受けることができます。○子どもが読書に親しむ環境が整備されています。
- 蔵書計画を策定し、長期的な展望で図書資料の充実が図られています。
- 地域や学校との連携を深め、教育や地域まちづくりなどに図書館が有効に活用される取り組みが進められています。

親子・児童機能

子どもがその親が本に親しみ、子育て相談やさまざまな世代との交流ができます。

- 亀山市子どもの読書活動推進計画に基づいた取り組みが進められています。
- 親子・若い世代が安心してゆったりと時間を過ごすことができる場がつくられています。
- 子育て相談や子育て情報の発信など地域全体で子育ての支える取り組みが行われています。

地域情報 文化発信機能

市民活動や生活情報、観光を含む亀山市に関するさまざまな情報を得ることができます。

- 図書館からの情報発信が着実に行われています。
- 亀山市の歴史文化・環境・産業・市民活動などの情報ステーションの役割を果たしています。
- さまざまなレファレンスに対応し、そのデータが蓄積されています。
- 名誉市民の中村晋也氏の功績や作品を展示するとともに、亀山市ゆかりの文化人などが紹介されています。
- ICT を積極的に採り入れた図書館サービスが提供されています。

展示 発表活動機能

市民活動や講座開催など学びの場であるとともに、その成果の発表ができます。

- 学びの成果による市民活動などの発表が行われています。
- 市民ボランティアや学校と連携して入りやすく使いやすい館内環境づくりが進められています。
- 何か新しい発見があるワクワク感を大切にしています。

学習機能

図書館の資料を生かして、個人・グループで学習ができます。

- 公民館や歴史博物館などの講座と連携した図書情報が提供されています。
- 図書館での学びを進めるための学習機会の提供が行なわれています。
- 図書館での学びや交流を生かした地域づくりなどへの支援が行われています。

市民交流機能

市外からの来訪者も含め、来館者がさまざまな形での交流ができます。

- 誰もが参加しやすい交流イベントが行われています。
- 食育や地産品の紹介が行なわれています。
- 地域間やさまざまな世代の交流活動に対しての支援が行われています。
- 市外からの来訪者へのおもてなしと、市民誰もがゆっくりと時間を過ごせる場となっています。

図書保存機能

図書館に集積されたさまざまな地域情報が保存され、図書に関する相談ができます。

- 長期的な展望に立った地域資料が収集保存されています。
- 市域周辺の自治体や施設に関する資料を収集し、相互連携のもとでその情報発信が行われています。
- 辞典など参考図書や多文化共生のための図書類の充実が図られています。
- 個人が収集してきた地域関係資料などの保存活用のありかたが検討されています。
- 図書の充実には、表現の自由・知る権利・人権に十分な配慮が行なわれています。

管理運営機能

図書館の全体を管理し、運営に関する企画を行います。

- 図書館スタッフは、「わたしたちの図書館は日本一である」との誇りを持ち、専門性の高い職員の育成を行っています。
- 利用者の視点に立った管理計画が策定されています。
- コストパフォーマンス意識を持った運営が行われています。
- 防災拠点としての機能を兼ね備えています。